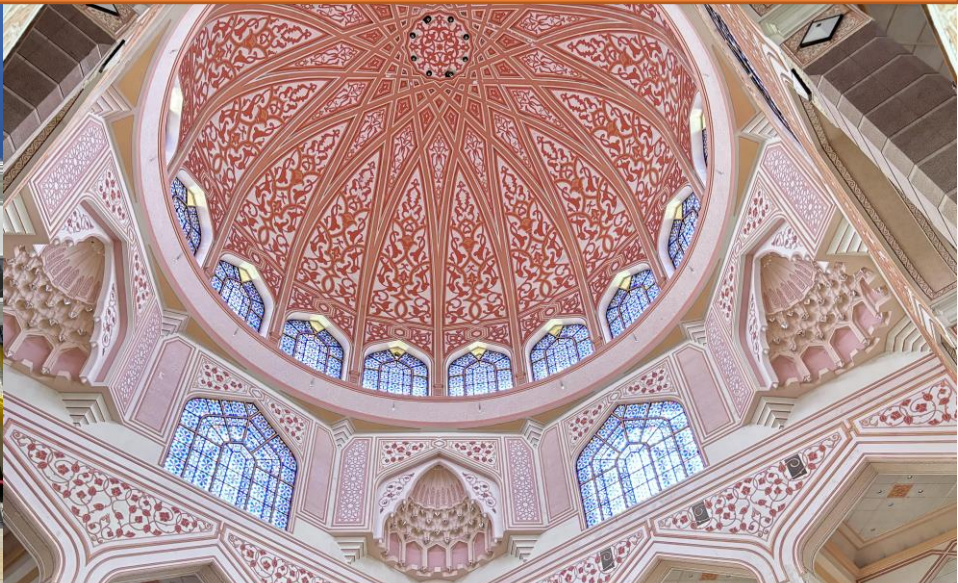


2024年夏渡航



2024年夏渡航





沢山の人と関わり、英語で話すことの抵抗がなくなりました！更に英語力向上へのモチベーションが上がりました！

工学部 化学・生命工学コース 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシア・APU

英語の文章を読んだり聞くことは出来ても話しかけられたときにほとんど答えることが出来ず、英語で会話が出来ようになりたいと思い語学研修に参加することを決めました。APUを選んだ理由は授業時間が他のプログラムよりも長く、英語を伸ばすには最適であると思ったからです。また、休日のアクティビティも充実していた点に惹かれました。

プログラム中は、月曜日から金曜日まで午前2時間、午後2時間の英語の授業をしていました。同じクラスの人と交流するためのグループワークや教室から出て実践するアクティビティなど様々な活動をしました。また、中間・期末のようなテストもあり英語でのプレゼンテーションをしました。プレゼンテーションの上手なやり方やスライドの作り方までアドバイスしてもらえたので良い学びになりました。他にカザフスタンやロシアからの生徒が多かったのですが自国の文化と他国の文化の違いに触れる機会なども多くあり、新しいことを色々知れてとても面白かったです。それぞれの価値観の違いや共通点などを知っていくにつれ仲良くなっていくことができ、異文化交流をすることが出来ました。この経験により語学力向上のモチベーションが凄く上がりました。

1ヶ月のプログラムでしたがすごく濃厚な日々を過ごすことができ、あっという間に過ぎていきました。海外の友達はもちろん同じ大学の人や日本の他大学の友達もでき充実したものとなりました。今まであまり知らなかった国でも友達が住んでいるなら知ろうと思ったり、行ってみたいと思うようになり自分自身の国際への関心が増え続けています。また、この1ヶ月間で身に着けたものを無駄にしないようにするために積極的に英語を話しにいけるようになったことが大きな進歩です。更に海外との関りを増やしていきたいと思っているのでまた違うプログラムにも参加したいと考えています。



1ヶ月間毎日英語に触れ続けることで実用的な英語を使う能力がつけました

工学部 情報通信工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：マレーシア・APU

私はこの1ヶ月のマレーシアの語学研修を通して、自身の英語力の成長を感じると同時に自分の意見を英語で伝えることの難しさも感じました。1ヶ月間日本の友達以外とは日常的に英語で会話しなければならないという状況は人生で初めて経験したので、大変な思いをすることはたくさんありましたが、長いようで短いとても充実した1ヶ月になりました。

現地の大学では最初にクラス分けが行われ、そこからは自分のレベルにあった授業を受けることができます。授業内にプレゼンがあり人前で英語で自分の意見を述べる良い練習になりました。グループワークやゲームなどを授業内で何回か行いました。そこで同じチームになった外国人の人とは英語で会話しなければならないので良い経験になりました。授業が終わった後は割と自由時間が多めだったので友達とゆっくりご飯を食べに行ったりすることができました。食事に関して、大学内のカフェテリアは様々なお店があり、いろいろな種類のご飯を食べることができました。ホテルの近くのモールには日本食のお店が結構あり、週に2回は日本食を食べていました。笑 週末のアクティビティでは様々な観光地に連れて行ってもらいました。移動はすべてバスで、快適でした。モスクやショッピングモール、プールなどに行き、気に入った場所は個人的にもう一回行ったりしました。

マレーシアは日本の夏よりは気温も湿度も低く非常に過ごしやすかったです。また店員さんや警備員の人は皆英語がペラペラなのでお店の中での会話も英語を話さざるを得ない状況ができ、良かったです。また大きな食あたりや病気などなく楽しく過ごすことができました。現地の大学での授業を通して実用的な英語を使う経験が増え、さらに4技能のテストを通して自分の英語の能力がさらに上がったと感じます。楽しみながら英語のスキルを上げたい人はこのプログラムに参加することをお勧めします！



人に積極的に話しかけることで、深い友情と他者の文化を学ぶことができました。

システム理工学部 数理科学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ ☐ 不可 派遣先： マレーシア・APU

個人的に英語に自信があったので、英語を学ぶという目的でいくというよりはその留学先でつながりを作る、マレーシアを知ること为目标として語学研修へといきました。マレーシアでのAPUのサマーキャンプという形の語学研修は4週間で長めであるため、マレーシアを満喫し、英語を学び、かけがえのない友情が生まれます。

APUに行くとならず、テストがあり、そのテストで己の英語力を図られます。そして自分のレベルにあった英語の授業を受けることができます。そのため、英語が本当に苦手という人でも安心して自分のペースで英語を学ぶことができます。朝は結構ゆったりとしていて、学校で朝ごはんを食べます。その後2つの授業、Reading and WritingとSpeaking and Listeningがあり、その間に昼食があります。

英語の授業は机に向かうのではなく、グループワークが多く、人と話し合いながら与えられた課題を進める感じです。たまに、APUの生徒にインタビューをするなど、ほかの英語のクラスに少しお邪魔するなど色々クリエイティブな方法で英語を学べます。夕方は自由行動となり、授業中にできた友達とマレーシアを散策することもできます。食事については色々な種類の食べ物があるので、困ることはないです。ドリアンだけは注意！



文化の違いを肌で感じるとともに、英語学習のモチベーションになりました！

システム理工学部 数理科学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可 派遣先：マレーシア・APU

海外に渡航したことがなかったので、留学することが大学生活の一つの目標でした。日本の外で生活してみたい気持ちが強かったことと、英語学習のモチベーションを高めるために参加しました。芝浦には夏休みに参加できる留学プログラムがたくさん用意されていて、参加する人のほとんどが1年生や2年生という環境で、「留学」に対するハードルが低くなりました。APUは、午前と午後に2時間ずつReading & Writing、Listening & Speakingの授業があり、欧米のプログラムに比べて費用が安く、またマレーシアが同じアジアの国でありながら多民族国家であるため選びました。

平日4時間ずつの授業中は常にリスニングをしている状態で、滞在期間中は特にリスニングやリーディングの能力が向上しました。話すことに関しては、もっと積極的に海外の友達と関わればよかったと少し後悔しています。授業中のグループディスカッションだけでなく、仲良くなって休み時間や放課後にもっと話すことができれば、よりスピーキング能力を向上させることができたと思います。プレゼンテーションで先生から質問されたときに、うまく英語が出てこなくてすらすら答えられなかった経験は、英語学習のモチベーションになったと同時に、単語が出てこなくてもコミュニケーションをとることができるという発見につながりました。

クアラルンプールは、歩いているだけで様々な民族の人やお店が目に入り、文化の違いを生活の中で体験することができました。語学研修に対する不安以上に海外で生活できるかが不安でしたが、基本的に英語が通じる上に、日本のお店もいくつかあって安心できたので初めての海外がマレーシアでよかったと思います。これを機に、今後の留学プログラムにも積極的に参加して、英語力をつけるとともに、多様性や文化の違いを実際に体験していきたいです。



留学を通して英語の学習だけでなく、文化や人としての自分の成長や自信をもてるようになりました！！

デザイン工学部 デザイン学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先： マレーシア APU

マレーシアでの滞在中、現地の文化や生活習慣に触れるだけでなく、多くの日本の店舗が存在することに驚きました。特にショッピングモールでは、日本の飲食店や雑貨店が数多くあり、日本の製品や文化が現地で広く受け入れられている様子を目の当たりにしました。これにより、海外でも日本の文化が高く評価されていることを強く感じ、日本人としての誇りを改めて実感することができました。

また、授業では、ロシア、カザフスタン、イエメンなど様々な国から集まった学生たちと共に学ぶ機会がありました。彼らは、先生の質問に対して躊躇することなく、自分の意見を積極的に述べ、自信を持って発言する姿が非常に印象的でした。その姿を見て、日本人とは異なる文化的な自信を感じるとともに、ミスを恐れずに意見を表明することの大切さを学びました。この経験を通じて、私も自分にもっと自信を持ち、自分の考えを率直に発信できる人間になりたいと強く思いました。

また、土日のアクティビティでは、大きな遊園地や水族館、プールなどに行きました。日本にはないようなスケールの大きな乗り物やスライダー、そして多様な動物たちなど、非常に刺激的な体験をすることができました。これらのアクティビティはとても楽しく、マレーシアでの時間を一層充実させてくれました。

さらに、マレーシアは地震による災害の影響が少なく、日本の建物よりも高い建物がたくさんあります。そのため、クアラルンプールの街並みを散策するだけでも、さまざまな新しい経験ができると思います。物価も日本より安く、気軽に海外留学や異文化に触れてみたい人には非常におすすめです。

この4週間を通して、私は本当に多くの経験を積むことができ、自分の未熟さを痛感しました。現地では、日本人はもちろん、さまざまな国籍の友人を作り、人生に残る最高の思い出を作ることができました。この夏、マレーシアに行くことができて、本当に良かったです！



様々な文化に触れ、 沢山の経験がすることができました

工学部 電気電子工学課程
電気・ロボット工学コース 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： ☒ 可 ・ 不可

派遣先： マレーシア・APU

語学研修に参加したとき、最初は英語のリスニングに対して強い苦手意識を持っていました。授業や会話の中でネイティブスピーカーが話すスピードについていけず、特に初めの頃は焦りや不安を感じる事が多かったです。それでも、自分を奮い立たせて挑戦し続けることにしました。

APUのイングリッシュキャンプでは、世界中から集まった参加者たちと出会う機会がありました。英語という共通の言語が、異なる文化や背景を持つ人々を結びつける様子を目の当たりにし、その力強さを実感しました。彼らとの交流を通じて、多様なアクセントや話し方に触れることができ、英語の多様性を肌で感じる事ができました。

特に印象に残っているのは、グループワークの体験です。さまざまな国から来た参加者と一緒に課題に取り組む中で、異なる文化や価値観が交わる瞬間を数多く経験しました。たとえば、同じ問題に対しても文化の違いから異なるアプローチや解決策が生まれることがあり、それがとても興味深かったです。このような異文化交流を通じて、言語だけでなく、新しい視点や考え方も学ぶ事ができました。

研修が進むにつれて、英語が飛び交う環境に少しずつ慣れていきました。最初は聞き取るのが難しかったネイティブスピーカーの会話も、次第に理解できるようになり、英語を「聞く耳」が育っていくのを実感しました。また、キャンプやグループワークでの経験を通じて、自分の意見を英語で表現することにも徐々に自信がついてきました。

研修が終わる頃には、最初に感じていた不安や苦手意識はすっかり薄れ、むしろ英語でのコミュニケーションに対して積極的な姿勢を持てるようになっていました。この語学研修は、私にとって単に言語を学ぶ場であるだけでなく、異文化理解を深め、自分自身の成長を実感できる貴重な経験となりました。